

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を滞りなく実施することに意識が集中しがちであり、初めて出席する家族の気持ちの配慮に欠けていた。今後は施設運営に興味を持って頂く為にも、議事録を送付し、事前に納得のいくまで説明をする等して不安なく意欲的な参加に繋げたい。また、会議の雰囲気を和やかなものにする為、アイスブレイクの時間を取るなど、参加者の表情を見ながら臨機応変に会議を進行する必要がある。	家族の会議に対する不安や不明瞭さを軽減し、施設運営する上でのキーパーソンとしての役割意識を持って参加して頂けるようになる。 また、会議を通して施設職員や行政関係者と親密になる事により、施設運営に対してより具体的な発言を得る事が出来、資質向上を目指す事が出来る。	家族に対し月末に送付する諸資料と共に議事録を送付する。初回に会議の趣旨を記載した説明文を添付し、理解を深める。初回の家族には日時の打診をする際に再度丁寧に説明を行い、質問や不安には都度真摯に対応する。会議終了後も必要であればフォローを行う。	1ヶ月
2	35	近隣住民の協力を要請した夜間の災害対策の訓練が実際には行えていない。日中に比べ、職員の数が著しく減少する夜間こそ職員の的確な判断と近隣住民の協力が必要不可欠といえる。昨年も同様の目標を掲げてはいたが、近隣住民の高齢者率が高いという事もあり、実際には協力要請が出来ていなかった。	準夜勤者のみでの訓練を実施し、マニュアルを徹底する。(6月に実施予定)	普段から近隣住民、自治会役員との関係性向上に向けた取り組みを意識する。(地域清掃・挨拶・イベントのお誘い等)その上で運営推進会議の出席の依頼を継続的に行い、また自治会の会合へも定期的に参加させて頂けるように努める。状況をみて訓練参加の依頼を提示する。具体的な依頼内容としては施設の外へ避難した後の利用者の見守りが挙げられる。	6ヶ月
3					
4					月
5					月